

# 大井第一マイ・タウン21

11月号 No. 98

発行：編集委員会

住所：南大井1-12-6

大井第一地域センター内

電話：3761-2000

Fax：5493-7286

平成23年10月20日

地域ニュース「マイ・タウン21」は、今回より毎月発行となり、紙面も新たにリニューアルされました。これからもご愛読よろしくお願ひいたします。

## <施設紹介>

### 「カフェ・ラララ」リニューアルオープン！

いきいきラボ関ヶ原より

10月よりカフェ・ラララは、60歳以上の区民の方にご利用いただいています。カフェ・ラララを運営するしながわシニアネットは、シニアがいきいきと自立して地域社会へ参画するため、パソコンや趣味・健康づくりの講座を主催し、シニアの情報活用能力向上を支援する団体です。

カフェを擁するサロンではパソコンをはじめ、ちぎり絵、折り紙サークルが活動している時間帯もありますので、見学かたがた、コーヒータイムをお楽しみください。メニューはコーヒー、アイスコーヒーを100円からご提供しています。

開店時間：月～金曜の平日13時～16時半

場所：東大井6-11-11

いきいきラボ関ヶ原内

電話：6902-0025

\*シルバーセンター利用券をお持ちの方はご提示ください。



## 鈴ヶ森町会バスハイク

### 鈴ヶ森町会より

鈴ヶ森町会恒例の今年のバスハイクは、品川区が企画した、地震・風評被害に悩む栃木県益子町を応援するツアーを取り上げました。昔懐かしい真岡鉄道SL列車に乗車し、益子町にて、お買物支援を目的とした応援ツアーに60名を超える方々が参加いたしました。地震復興シンボルとして、再び走り出した真岡鉄道SL列車の記念すべき70万人目の乗客に、当町会の平澤裕美さん(18歳)が認定され、真岡駅ホームにて記念式典に参加し、真岡市長から記念品を頂きました。その中で、平澤さんは「今回、東日本大震災復興支援として義援金だけでなく、少しでも現地に足を運んで、支援が出来ればと思い、家族と参加させていただきました。その中で、運よく70万

人目に認定されるとは思ってもいなかったもので、とても感激いたしました。今日の旅行をきっかけに、少しでも被災地の支援ができるように、これからも考えていこうと思いました。」とコメントしていました。平澤さんのコメントの通り、私ども鈴ヶ森町会は、被災地の復興を祈念しつつ、これからも被災地の皆様を少しでも支援していける様、精進してまいりたいと思っております。



※「マイ・タウン21」は、地域の行事や情報を掲載しております。ご投稿いただく記事を募集しております。お気軽に発行連絡先へお問い合わせ下さい。

**震災復興応援ツアー・北茨城**  
大井寺下町会より

東日本大震災から5ヶ月すぎた8月中旬、以前町会の慰安旅行でお世話になった五浦温泉が営業再開に。少しでも応援したい気持ちから有志による一泊旅行を実行しました。

車窓から見た大津港近辺はところどころ空地が目立ち、外観の残る住宅は中が流され住める状態ではなく、津波の怖さを知りました。

再開したホテルも玄関横はシートで覆われ、露天風呂はまだ修理中でしたが、待ち望んだ団体客、と歓迎して下さり恐縮するほど温かいもてなしを受けました。ホテル近くにある六角堂は流され、土台だけが残る寂しい風景でした。五浦美術館は閉鎖中で残念でしたが、七つの子、赤い靴等沢山の童謡を作詞した野口雨情記念館は見学できました。震災後はじめての団体客、「よく来て下さいました」と感謝され案内して下さいました。復興には長い年月がかかるとは思いますが少しでも手伝えることが出来ればと思っています。



**「富士山からの絶景に大感動！！」**  
大井南浜町会より

恒例のバスハイクが、7月10日(日)に、31名の参加で実施されました。

出発時は、あいにくの曇り空で、富士山からの眺望は期待薄でしたが、雲上の富士山新五合目に到着すると、まるで下界の曇天がうそのような大絶景。駿河湾まではっきり見渡せ、気温32度の東京の暑さを忘れる21度の爽やかな空気に包まれ、予想外の絶景に、集合時間を忘れる程の感動に皆浸っていました。

感動も冷めやらぬまま、由比でさくらえびづくしの昼食に舌鼓を打ち、広重美術館では、東海道五十三次の浮世絵に思わず見入ってしまいました。特に品川宿の絵の前では、地元の昔懐かしい風景に大いに話が盛り上がり、又有名な由比からの富士の絵に、先ほどの富士山の感動が甦りました。

事故渋滞で、帰着が7時過ぎになってしまいましたが、疲れも見せず名残惜しそうな皆さんの顔が印象的でした。

こうした行事の積み重ねが、町会員のチームワークを益々堅固にしているのですね。



**<新町会長紹介>**  
北浜川西町会 坂本 恭子さん



昭和54年新馬場より当地に転居してまいりました。当時子供達は幼く町会の方々には大変お世話になりましたので、その後微力ですが町会活動のお手伝いをさせて頂きました。経理事務の仕事の傍ら趣味と実益を兼ねた

箏教室を個人と近隣の施設で開講しています。又、体力作りを兼ね水泳指導もクラブでさせて頂いています。

町会運営は引き継いでから2ヶ月半が経ったところです。新役員さんと勉強会等を重ねていますがまだ手さぐり状態です。幸い会員さん、関係各位の方々から暖かいご支援を頂き感謝の気持ちで行事を一つづつ熟しながら町会の輪ができるのを楽しみにしています。そんな中、初めて役を引き受けた方が、「知人が増え“挨拶ができるのが嬉しい”」と笑顔で話されていました。沢山の笑顔が見られる町会づくりを願い、皆様のご理解ご協力を頂いて役員一同実行あるのみと努力してまいります。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。